

2022年を彩る「話題の人」「記事」「メディア」を表彰する NEWSの祭典「LINE NEWS AWARDS 2022」を12月14日に開催！

2022.11.30 メディア関連サービス

「話題の人賞」6部門32組、「LINEジャーナリズム賞」10記事のノミネートを発表！

来年ニュースになりそうな人を表彰する「NEXT NEWS賞」には、亀田誠治氏・三木孝浩氏が特別アドバイザーとして参画

LINE株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、芸能・文化・スポーツ・音楽の各分野でNEWSになったその年を彩る“話題の人”を表彰する「話題の人賞」、社会課題を工夫して伝えた“記事”を表彰する「LINEジャーナリズム賞」、LINEユーザーに支持された“メディア”を表彰する「LINEメディア賞」をLINE NEWSが独自の基準で選出・表彰する、NEWSの祭典「LINE NEWS AWARDS 2022」を12月14日（水）に開催することを決定いたしました。

あわせて、「話題の人賞」より6部門 32組、社会課題を工夫して伝えた“記事”を表彰する「LINEジャーナリズム賞」より10記事のノミネートを発表いたしましたので、お知らせいたします。



■「LINE NEWS AWARDS 2022」が12月14日（水）に開催決定！

「LINE NEWS AWARDS」は、月間利用者7,700万人*1を超える国内最大規模のニュースメディアが、その年を彩る話題の人・記事・メディアにスポットライトを当てるNEWSの祭典です。1,100を超えるパートナーメディアとともに、1日1万件以上*2のコンテンツを一人ひとりにパーソナライズ配信するLINE NEWSが独自の基準で選出した、2022年を代表する人々が一堂に会して、今年一年を振り返ります。

2018年より毎年開催し、5年目を迎える今年は、2022年に目覚ましい活躍と影響力で広くLINEユーザーやメディアの関心を集めた方々の中から「話題の人賞」に6部門 32組がノミネート。昨年より新設した、“来年NEWSになりそうな人”を表彰する「NEXT NEWS賞」では、特別アドバイザーとして音楽プロデューサーの亀田誠治氏と、映画監督の三木孝浩氏に参画いただき、2名の受賞者を選出いたします。

また、「LINEジャーナリズム賞」からは“社会課題を工夫して伝えた記事”という観点に基づき、独自に選出した10記事がノミネート。今年は、元TBS報道キャスターで白鷗大学特任教授の下村健一氏、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授の治部れんげ氏、ウェブメディア「DANRO」編集長で関西大学総合情報学部の特任教授の亀松太郎氏、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之氏に加えて、キャスターでありジャーナリストの長野智子氏、一般社団法人SDGs in SPORTS代表理事の井本直歩子氏の計6名を特別アドバイザーに迎え、「LINE NEWS AWARDS 2022」でノミネートされた10記事の中から大賞を発表いたします。

12月14日（水）に、各部門の受賞者が一堂に会する表彰式を行います。「話題の人賞」と「NEXT NEWS賞」の発表の様子は、オンラインにて配信されます。配信の詳細スケジュールやURLは以下の特設ページより順次ご案内いたします。

「LINE NEWS AWARDS 2022」特設ページ：<https://news.line.me/lp/awards/2022/>

■「話題の人賞」

目覚ましい活躍と影響力で広くLINEユーザーやメディアの関心を集めた、その年を彩る話題の人を表彰いたします。LINE NEWSにおける記事掲出数・前年との注目度の変化・PV数などを基に、LINE NEWSが独自に6部門32組のノミネートを選出しました。表彰式では、各部門でLINE NEWS上で話題をさらった1組を表彰いたします。

2022年の「話題の人賞」ノミネートは以下の通りです。

話題の人賞 ノミネート

アイドル部門

ITZY
ENHYPEN
JO1
なにわ男子
BE:FIRST

アスリート部門

国枝慎吾
坂本花織
佐々木朗希
羽生結弦
村上宗隆

アーティスト部門

Aimer
King Gnu
Saucy Dog
Tani Yuuki
Vaundy
YOASOBI
wacci

芸人・タレント部門

オズワルド
川島明
空気階段
錦鯉
ヒコロヒー

俳優部門

伊藤沙莉
菅田将暉
清野菜名
橋本環奈
松下洸平

文化人部門

遠藤達哉
濱口竜介
樋口真嗣
藤本有紀
三谷幸喜

※五十音順

■「NEXT NEWS賞」

エンターテインメント界で"来年NEWSになりそうな人"を表彰いたします。LINE NEWSにおける露出や反響のみならず、エンターテインメント界でクリエイター・プロデューサー・表現者として活躍する方々を特別アドバイザーとしてお招きし、定量・定性の両面で選考を行います。今年は、音楽プロデューサーの亀田誠治氏・映画監督の三木孝浩氏に特別アドバイザーとして参画いただき、2名の受賞者を選出いたします。

NEXT NEWS賞 特別アドバイザー



亀田 誠治

三木 孝浩

■「LINEジャーナリズム賞」

2022年、LINE NEWSで配信された約400万本を超える記事の中から、記事閲覧数・ユーザーのアクションなどをベースに、「LINEで社会課題を工夫して伝える」という観点に基づき独自に選出した10記事のノミネートの中から、特に優れた1記事が表彰されます。今年も、元TBS報道キャスターで白鷗大学特任教授の下村健一氏、東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授の治部れんげ氏、ウェブメディア「DANRO」編集長で関西大学総合情報学部の特任教授の亀松太郎氏、NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表の清水康之氏に加えて、キャスターでありジャーナリストの長野智子氏、一般社団法人SDGs in SPORTS代表理事の井本直歩子氏に特別アドバイザーを務めていただいております。

2022年の「LINEジャーナリズム賞」ノミネート記事は以下の通りです。

LINEジャーナリズム賞 ノミネート

- **小5に6キロ減量指示、おかずはコンニャク…そして柔道から離れた 子どもに課す勝利至上主義は何のため**（朝日新聞デジタル）
- **新品ランドセル、黒を選んだ娘にひやり 外国人ママが直面した「日本のフツウ」を見つめる**（朝日新聞withnews）
- **震災から11年 行方不明になった妻を捜し、今日も女川の海に潜る夫**（仙台放送）
- **機械で動く心臓 移植は4年待ち… 臓器提供「もしかしたら次はあなたのそばでも…」**（テレビ新広島）
- **ついていったらマルチだった一。“洗脳”で全てを搾取。「潜入取材」で暴いた正体と、首謀者の言い分**（毎日新聞）
- **「マンガなんかで」投げられた批判…後ろめたさ。それでも“狂気の戦場”戦後世代が伝え続ける理由**（マグミクス）
- **「なぜ僕を育ててくれなかったのですか」生みの親へ書いた手紙…出自を知りたい養子の思い**（読売新聞オンライン）
- **“言葉にしてはいけない思い？”語り始めた母親たち**（NHK NEWS）
- **ウクライナは「他人ごとではない」ロシアに奪われたままの故郷 日本にある領土問題**（STVニュース北海道）
- **記者が見た“戦争”のはじまり…ウクライナ侵攻から半年 悲しき「おばあさんZ」の正体**（TBS NEWS DIG）

■「LINEメディア賞」

新聞社やテレビ局、ファッション誌やビジネス誌など420以上のメディアが厳選したニュースを配信する「LINEアカウントメディア」。参画メディアを13ジャンルに分け、各メディアの配信に対するユーザーの満足度を、独自の指標で「エンゲージメントランク」としてランキング化。1年を通して、各ジャンルで特に高い支持を得たメディアを表彰いたします。

LINEでは、今後も様々な取り組みを通じてユーザーにとって価値のある情報接点を提供するとともに、メディア各社との連携を強化することで、コミュニケーションプラットフォームとしての更なる成長・拡大を図ってまいります。

<「LINE NEWS AWARDS」について>

「LINE NEWS AWARDS」は、月間利用者7,700万人*1を超える国内最大規模のニュースメディアが、その年を彩る話題の人・記事・メディアにスポットライトを当てるNEWSの祭典です。1,100を超えるパートナーメディアとともに、1日1万件以上*2のコンテンツを一人ひとりにパーソナライズ配信するLINE NEWSが独自の基準で選出した、2022年を代表する人々が一堂に会して、今年一年を振り返ります。

<LINE NEWSについて>

スマートフォン時代の新しいニュースの形を追求する「LINE NEWS」は、7,700万人*1の月間利用者数を擁し、月間PV数は154億*2を突破しております。また、1,100を超えるパートナーメディアとともに、1日10,000件以上*3のコンテンツを7,700万人のユーザー一人ひとりにパーソナライズし配信する、国内最大規模のコンテンツプラットフォームとして成長を続けております。

*1,2：2021年8月時点 *3：2022年3月時点